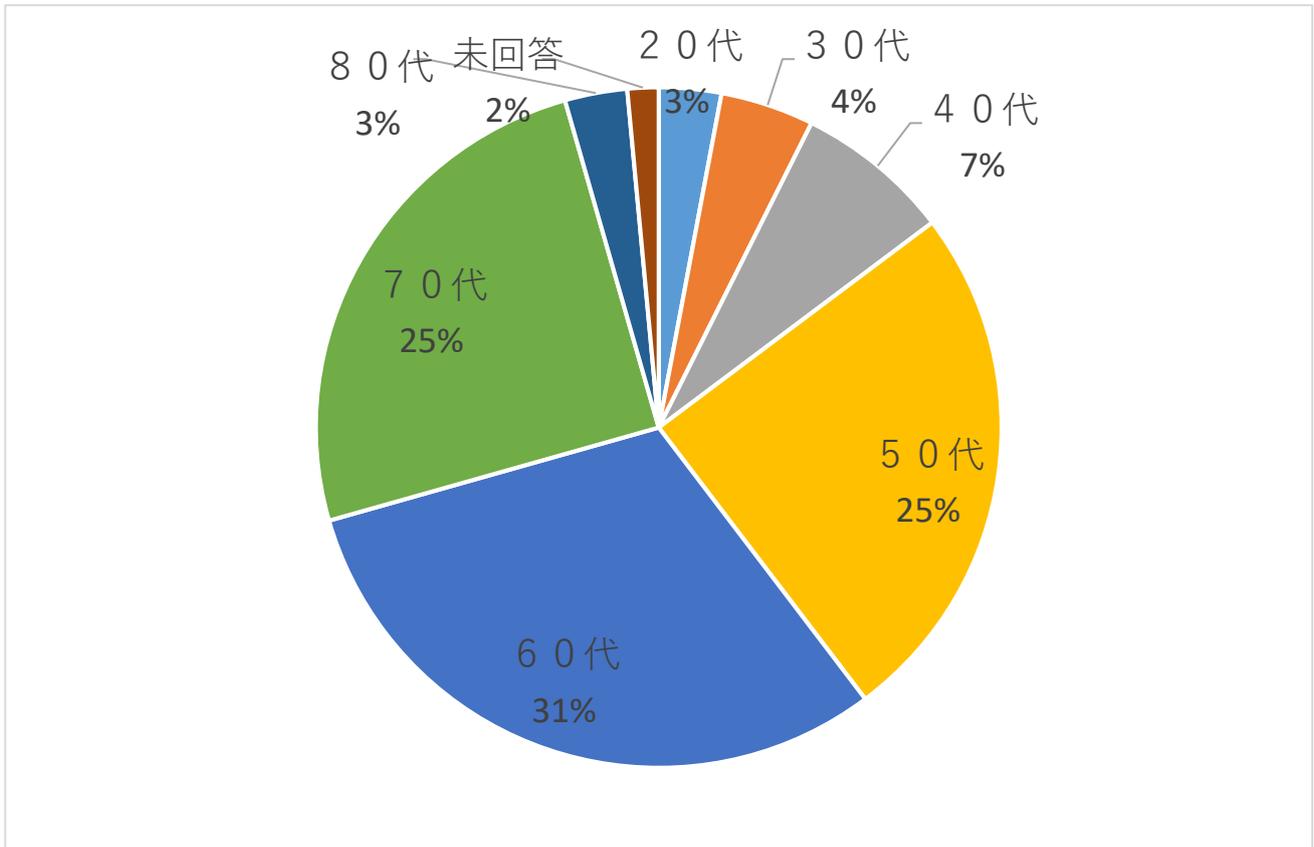
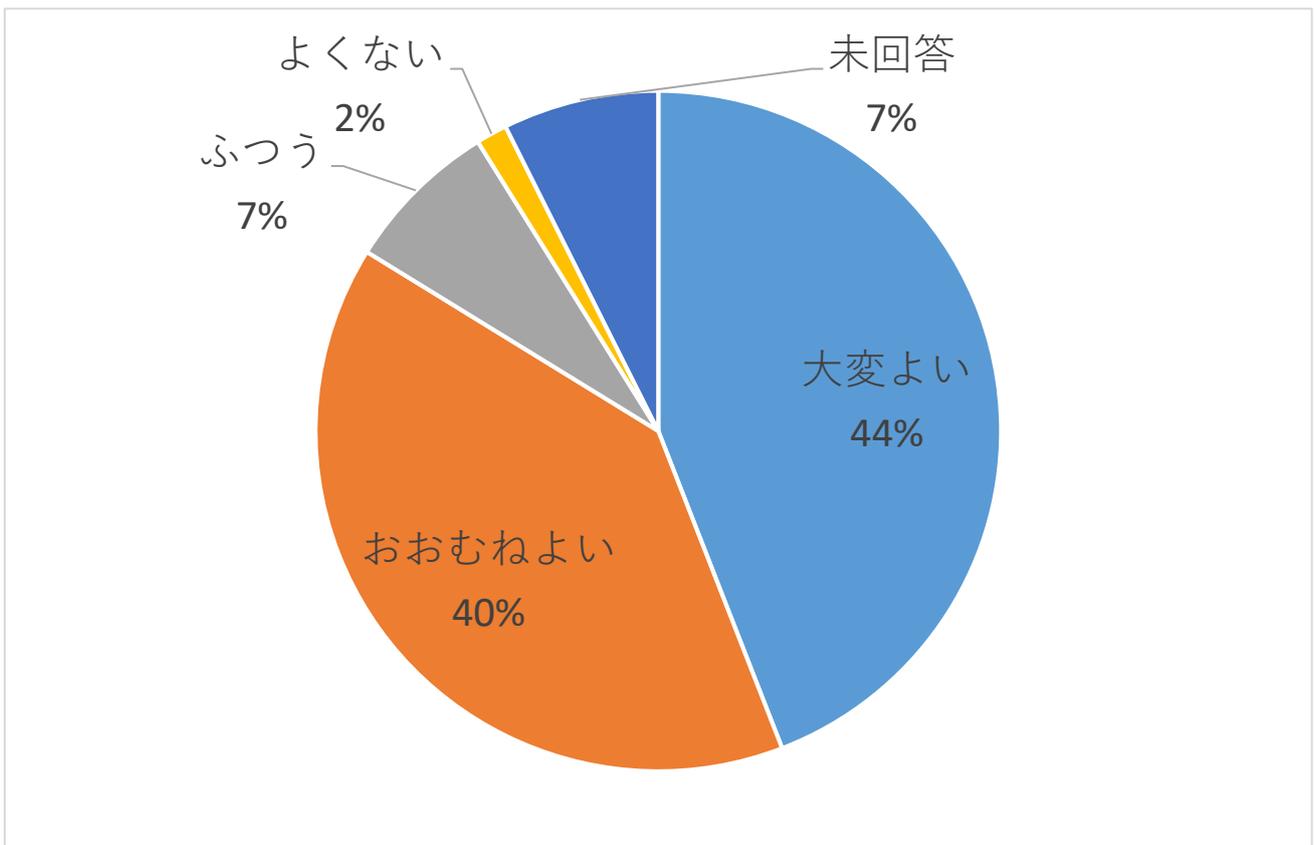


ひきこもり支援研修会（5月20日）アンケート結果

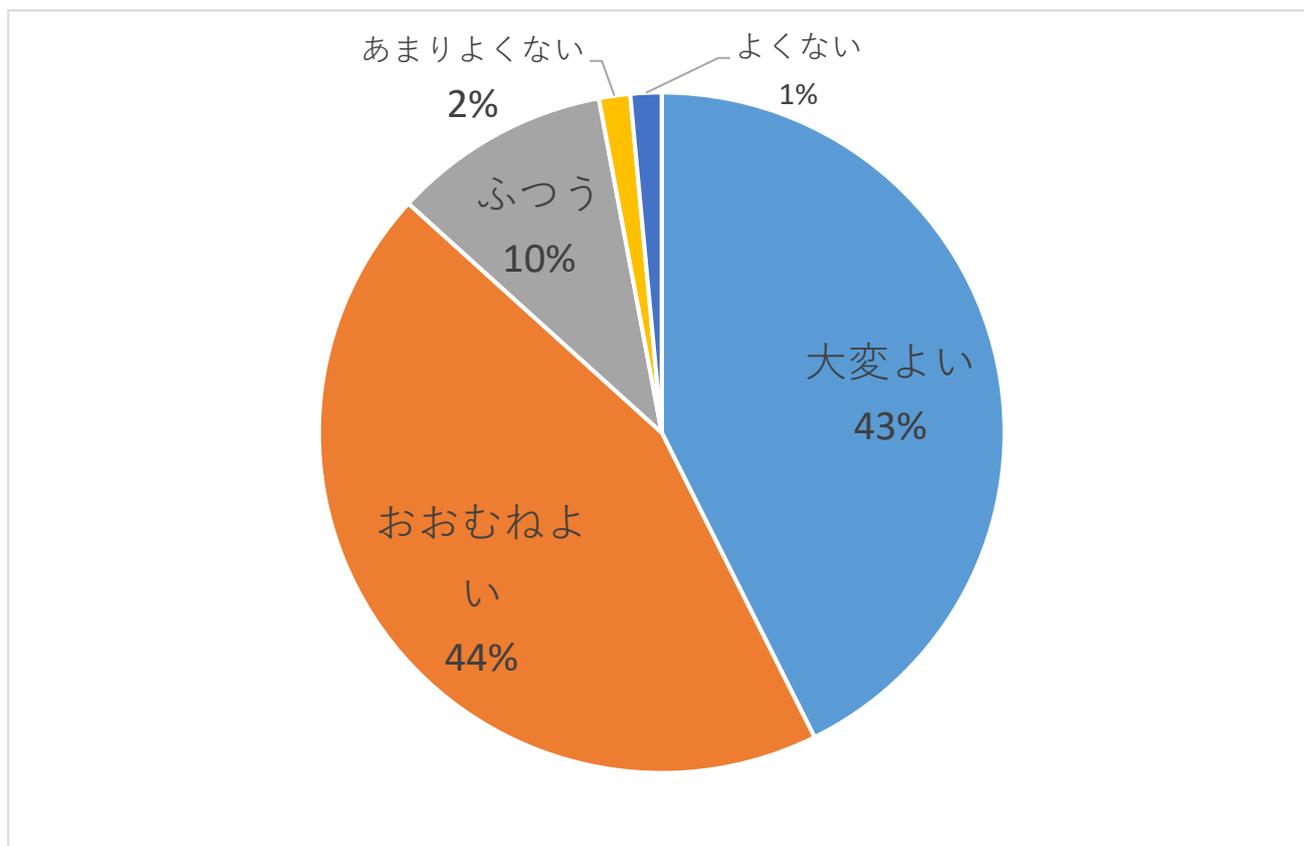
1 参加者内訳



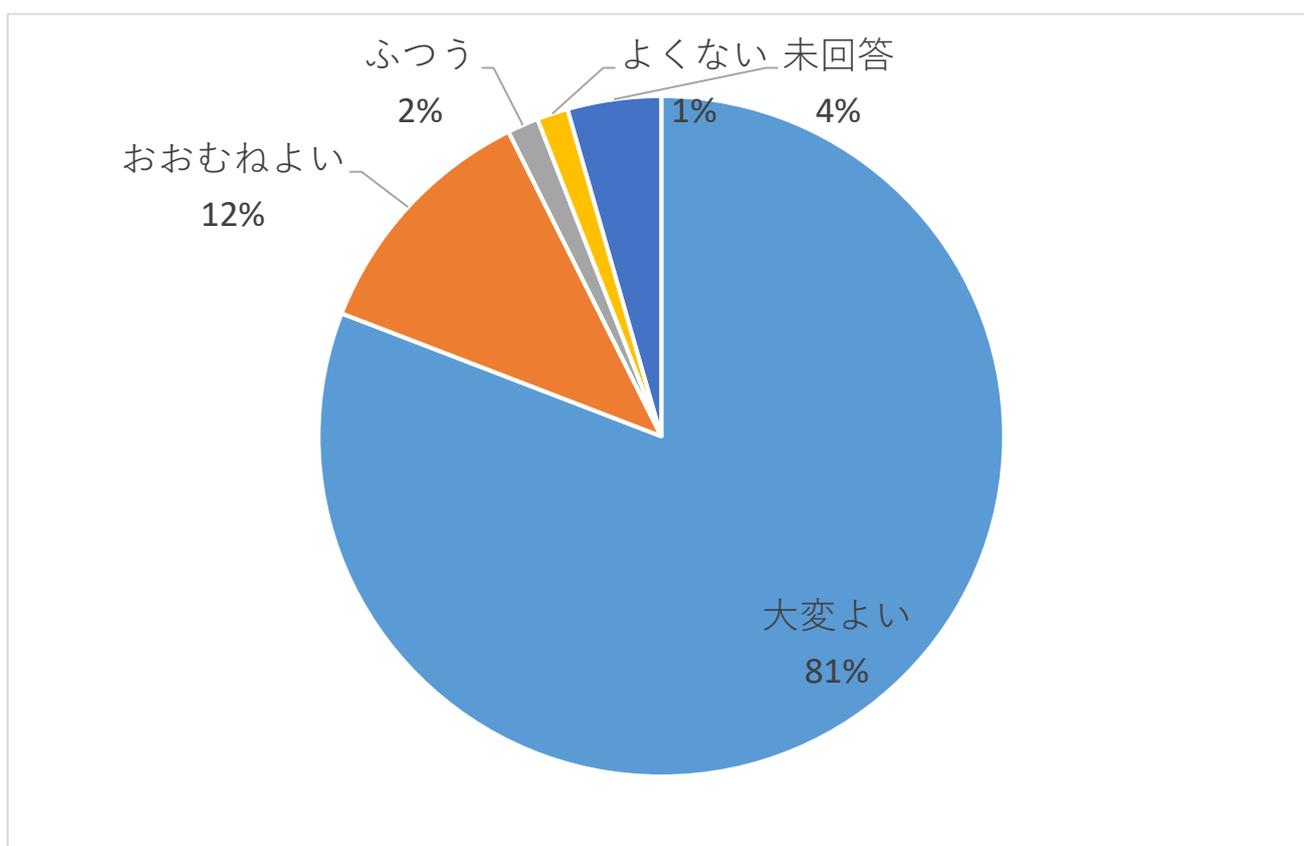
2 研修会全体の感想



3(1) 感想（ひきこもりに関する理解と支援の基礎知識）



3(2) 感想（ひきこもり経験者の体験談と今、伝えたい思いや願いについて）



令和5年度 ひきこもり支援研修会(第1回) 参加者アンケート結果(5.5.20開催)

1 年代に○のご記入をお願いします。(合計 68名)

20代→2人 30代→3人 40代→5人 50代→17人

60代→21人 70代→17人 80代→2人 無選択→1名

2 研修会に参加して、全体の感想につきまして、(1)~(5)に該当する項目に○のご記入をお願いします。

(1) 大変よかった。→30人 (2) おおむねよかった。→27人 (3) ふつう→5人

(4) あまりよくなかった。→0人 (5) よくなかった。→1人 無選択→5人

ご回答の理由をご記入ください(任意回答)→別紙1のとおり

3 講演ごとの感想をお願いします。(1)・(2)のア~オに該当する項目に○のご記入をお願いします。

(1) ひきこもりに関する理解と支援の基礎知識

ア 大変よかった。→29人 イ おおむねよかった。→30人 ウ ふつう→7人

エ あまりよくなかった。→1人 オ よくなかった。→1人

ご回答の理由をご記入ください(任意回答)→別紙2のとおり

(2) ひきこもり経験者の体験談と今、伝えたい思いや願いについて

ア 大変よかった。→55人 イ おおむねよかった。→8人 ウ ふつう→1人

エ あまりよくなかった。→0人 オ よくなかった。→1人 無選択→3人

ご回答の理由をご記入ください(任意回答)→別紙3のとおり

4 ひきこもり支援に関する要望、感想等がありましたら、自由にご記入をお願いします。

→別紙4のとおり

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 ひきこもり支援研修会(第2回) 参加者アンケート結果(5.6.10開催)

2 研修会に参加して、全体の感想【回答理由】

(1) 大変よかった。

- ・ 資料提供、情報交換があった。
- ・ レジюмеに沿った具体的な内容で、まとめてお話をいただき、分かりやすかったです。
- ・ 2回目だけの参加でしたが、来てよかった。民生委員の活動に活かしていきたい。
- ・ 支援団体からの活動について、具体的で分かりやすい説明でした。松本市の重層的支援体制整備事業も、手探りながらもスタートしながら改善していくという取組み姿勢に共感が持てました。また、最近の情報についても新聞記事等で取り上げていただき、学びになりました。

(2) おおむねよかった。

- ・ 丁寧な講演で、知らないことを知ることができた(2名)。
- ・ ひきこもりの実態を理解できた。
- ・ わかりやすかった。
- ・ 2本立ての構成・内容がよかった。
- ・ 講師の人柄のやわらかさで、安心できた。
- ・ ひきこもりについての見方が変わった。
- ・ 普段聞けない講演会だった。
- ・ きめ細かい支援の取り組みや資料の提供について、有難く思う。
- ・ 話を聞いたり、本や新聞等で読んだことなど、再度大切な部分を押しえることができ、よかった。
- ・ 基本的な知識と、支援の場所を理解することができた。

(3) ふつう

- ・ 資料が、見にくかった。

(5) よくなかった。

- ・ 経済的な切り口からの説明が、全くなかった。ひきこもりの期間の経済負担は、誰がするのか?(親御さんに、同情します。)

令和5年度 ひきこもり支援研修会(第1回) 参加者アンケート結果(5.5.20開催)

3 講演ごとの感想をお願いします。(1)のア～オに該当する項目に○のご記入をお願いします。

(1) ひきこもりに関する理解と支援の基礎知識 【回答理由】

ア 大変よかった。

- ・ ひきこもりの過去のイメージとは、大きく違っていると感じた。
- ・ 基礎知識が、理解できた(2名)。
- ・ 8050問題は、社会にとって大きな損失である。
- ・ 支援の方向性を示していただいた。
- ・ 対策が、身近なところで広く行わないと、いけない。
- ・ とても勉強になった。
- ・ 丁寧かつ具体的で、よかった。
- ・ 共感できる内容で、よかった。
- ・ 多岐にわたる内容を簡潔にまとめてあり、概要を把握しやすかった。
- ・ 分かっているつもりだったことが、実はあまり分かっていなかったことが認識できた。
- ・ 色々な支援が身近にあることが分かり、ほっとした。必要時は、相談に伺いたい。
- ・ 心身の不調で外に出られない子を持つ親にとって、日頃つい目の前のことに意識を向けがちだが、ひきこもりの要因、家庭状況等、客観的に捉えることができた。

イ おおむねよかった。

- ・ もっと詳しい説明がほしかった。ついていくのに、忙しかった。
- ・ 今の状況が、よく分かった。
- ・ 勉強のきっかけになった。
- ・ 長野県の取組みを知ることができ、よかった。
- ・ 問題の概略をつかむのに、とても分かりやすかった。

ウ ふつう

- ・ 振り返りができた。
- ・ ひきこもりについての考え方が、分かった気がする。
- ・ 家族の方と接する機会があれば、話を聞くことから、ゆっくりと始めたい。
- ・ 参考図書ではなく、講師の言葉で説明をお願いしたい。

- ・ 途中、社協の方の話が長く、質疑ができなかったが、社協の方の説明も、時間をとってしっかりと行うべき。

エ あまりよくなかった。

- ・ 当たり障りのない凡庸な内容で、もっと具体的に踏み込んだ話が聞きたかった。

オ よくなかった。

- ・ 東京都江戸川区のような詳細なデータがなく、長野県内の2290人のひきこもりのデータの層別ができていない。男女別、タイプ別(①就労拒否型 ②精神障害・知的生涯型 ③人間関係苦労型)等が示されず「誰にでも起こりうること」と結論づけている。これでは、改善効果が得られない。マーケティング手法として、民間企業では全く通用しない。

令和5年度 ひきこもり支援研修会(第1回) 参加者アンケート結果(5.5.20開催)

3 講演ごとの感想をお願いします。(2)のア～オに該当する項目に○のご記入をお願いします。

(2) ひきこもり経験者の体験談と今、伝えたい思いや願いについて【回答理由】

ア 大変よかった。

- ・ 具体的かつ平易な言葉で分かりやすく(8名)、奥深い内容だった(2名)。
- ・ 人とのリアルなつながりを求めている本音が切実であった。
- ・ スモールステップで、社会全体に支援の輪を広げたい。
- ・ 経験談・体験談が聞けて、大変よかった。事実を知ることができた(14名)。
- ・ 優しい語り口で(3名)、何より安心が大事だと思った。
- ・ 包摂的な社会が大事だと思った。
- ・ 講師のお人柄を感じた(ふんわりとした雰囲気)。
- ・ 信頼関係を持つということは、その人の人間性から安心感を与えられる。
- ・ 頑張りを認め、一步引いてみることで、本人にとって大切な時間であることが分かった。
- ・ 安心できる環境の重要性が、よく分かった(2名)。
- ・ 当事者や家族が苦しんでいるのを、どう支援し、寄り添っていくかを考えることができた。
- ・ 難しい人の心は、読み取れない。寄り添おうと思っていない自分がいる。
- ・ 納得するところが、たくさんあった。話に思いや心がこもっていた(2名)。
- ・ 体験を意識的に捉えなおし、図示して分かりやすく説明いただき、伝わるものが強くあった。ありがとうございました。
- ・ 当事者の気持ち、どうしてほしいのかを大切にすることを、もっと考えていきたい。(2名)
- ・ 実感が湧き、問題点を理解できるような気がしてきた。
- ・ 自分らしく生きていることが、社会参加になる。
- ・ ご本人とご家族との関係について、どの様に乗り越えていったかのお話が聞きたかった。
- ・ 知らずにいたことを、多く知ることができた。
- ・ ささやかな応援から始めたいと思った。

- ・ 声掛け等、参考にしたいことがたくさんあった。
- ・ 居場所を見つけた。
- ・ 地域に関わる者として、気をつけておくことに共感した。
- ・ 取り巻く社会環境への提言もあり、とても参考になった。
- ・ 生き方の多様性の本当のところが見れて、よかった。
- ・ 21歳の子どもが、ひきこもり中です。家の中では、WBC野球・大谷選手に夢中で、毎日テレビ観戦していますが、外に出ることが全くできなくなってしまいました。

先生のお話をお聞きして、私自身とても安心しました。本人が先生にお会いし、外に関心を向けてくれたらと思います。家の中でのエネルギーの充電、頑張りたいと思います。

- ・ 子どもが現在ひきこもりで、辛い思いをしています。子どもの想いに少し近づくことができ、ヒントを得た気がします。
- ・ 終盤の進行が駆け足で、内容が読み取れなかった。
- ・ パワーポイントの資料も、いただきたかった。

イ おおむねよかった。

- ・ 内容が盛り沢山で濃密だったが、特に5～7が十分な消化ができず、難しかった。ただ、中野先生の話と重複することが多々あったので、一貫性があってよかった。
- ・ ひきこもりの状態について、基本的な内容が理解できた。

ウ ふつう

- ・ SDGS問題から、ご苦労がよく分かった。

オ よくなかった。

- ・ 普通に勉強や就労の緩急、バランスを取りながら進めば、不登校やひきこもりは、未然に防げたのではないか？

令和5年度 ひきこもり支援研修会(第1回) 参加者アンケート結果(5.5.20開催)

4 ひきこもり支援に関する要望、感想等がありましたら、自由にご記入をお願いします。

- ・ 今回の参加されている方々の背景を知りたい(支援実践者が多い?)。
- ・ 地域に相談するところがほしい。
- ・ 継続した学びの場所を提供してほしい(2人)。
- ・ このような機会を設定していただき、感謝(2人)。
- ・ 2人の講演会は、多く感じた。
- ・ テーマを絞り、連続講座にしてほしい。
- ・ 支援制度を詳しく知りたい。
- ・ 金銭面の不安について
- ・ WRAP(包摂)について、知りたい。
- ・ 8050問題についての対応(個人情報扱い方、地域の接し方)
- ・ 現在は周りにいないが、参考にしていきたい。
- ・ 松本市内でも、支援団体を立ち上げることができれば。研修会をきっかけとしたい。
- ・ 当事者、経験者を含めたグループワーク、意見交換の開催
- ・ 松本市の取組みを待望していましたので、今後期待しています。
- ・ 体験談を、たくさん聞きたい。
- ・ 登校拒否の経験があり、1ヶ月高校を休んだ。きっかけは、たわいもないことだったが、当時は心が苦しかった。学校へ行くきっかけを作ってくれたのは、親友の言葉だった。一人でも相談できる相手がいれば、心強い。
- ・ 支援者に対する講演会の内容だったので、ガッカリした。親は対象になっていないと感じた。
- ・ ひきこもりの子も、親に対する情報がどこで発信されているか、届きにくいと感じている。
- ・ 民生委員の方々のご任務内容を、教えてほしい。
- ・ ゴールを目指していくのは、時間もかかり、大変だと思った。
- ・ 地域の中で気になっていることはあるが、きっかけがないまま、何年も経っている。
- ・ 「困っています」と手を挙げることも、容易ではないと感じた。
- ・ 中2の娘が、現在PTSD(心的外傷後ストレス障害)で満足に学校に行けず、大変心配しております。一度、自身のケアが必要かと考えました。